

# 兵庫県医師連盟ニュース



index

2023〈第29号〉

- 医師連盟委員長挨拶
- 自民党兵庫県連各種友好団体との政策要望に係る意見交換会
- 令和5年 兵庫県医師会 新年祝賀会
- 議員対談 衆議院議員 山田賢司氏
- 郡市医師連盟だより (川西市医師連盟・姫路市医師連盟)

発行所 兵庫県医師連盟

〒651-8555 神戸市中央区磯上通6-1-11

Tel 078-265-2328

http://www.hyogo-ishirenmei.jp

編集責任者 八田 昌樹



兵庫県医師連盟  
委員長 八田 昌樹

## 医師連盟委員長挨拶

において「全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律案

2023年を迎えましたが、新型コロナウイルス感染症の第8波は依然としてまん延し、今年はその上インフルエンザの流行も重なり、委員の先生方には一般診療、発熱外来、ワクチン接種、重症者の入院加療等大変お忙しい日々を送られていることに感謝いたします。1月17日には阪神・淡路大震災が発生して28年となり、各地で追悼行事が行われ、多くの人が各々の思いを込めて祈りを捧げました。本年が災害や事故のない穏やかな年になることを祈念します。

さて、4月には統一地方選挙(3月31日公示、4月9日投票)があります。兵庫県医師連盟は、各郡市医師連盟の推薦議員を推薦させていただきます。また、昨年の参議院議員選挙で自見はなこ氏を応援していただいた議員の先生方の支援を宜しくお願いします。

(仮称)が提出されます。この法案にはかかりつけ医機能が發揮される制度整備が含まれています。かかりつけ医機能は、現在省令で定義されている「身近な地域における日常的な医療の提供や健康管理に関する相談等を行う機能」が法文に明記される予定です。複数のかかりつけ医を持つ国民や県民も多く、かかりつけ医機能は単純に定められるものではありません。かかりつけ医を固定するような法改正は、国民も県民も望んでいません。かかりつけ医機能は地域や診療科によって異なることから、定義以外のかかりつけ医機能の要件まで法文で一律に定めるのではなく、必要な機能を地域ごとに考えていくべきです。かかりつけ医を選ぶのはあくまでも患者の選択であり、義務ではないこと、さらに我が国の医療の特色であるフリーアクセスを守り、必要な時に迅速に必要な医療を受けられる原則は変わ

らないことを前提とすべきです。国民皆保険制度を堅持し、県

民に安心安全な医療を提供できるように日本の医療を守っていきましょう。

## 自民党兵庫県連 各種友好団体との 政策要望に係る意見交換会

令和4年9月9日(金)午後2時30分から県庁3号館4階の

自民党県議団フロアにおいて意見交換会が開催された。兵庫県医師連盟から八田昌樹委員長、橋本寛副委員長、大門常任執行委員が出席、大前はるよ自民健康福祉部会長、八田昌樹兵庫県医師連盟委員長の挨拶の後、令和5年度兵庫県予算編成

に対する最重点要望事項について橋本寛副委員長・大門美智子常任執行委員より

夫々説明し、実現方を強く要請した。

同党からは、健康福祉部会長の



八田委員長より挨拶



左より大門常任執行委員・橋本副委員長・八田委員長



出席の県議会議員

並びに・松井重樹(たつの市・揖保郡)・大谷かんすけ(尼崎市)・かわべ宣宏(長田区)・北川泰寿(西宮市)・北野美(姫路市)・関口正人(三田市)・橘秀太郎(美方郡)・内藤兵衛(西脇市)・多可郡)・水田裕一郎(姫路市)・永田秀一(南あわじ市)・山口晋平(たつの市・揖保郡)の総勢12名の県議会議員の出席があった。

### 最重点要望事項

【1】 新生児サイトメガロウイルス感染スクリーニングの導入

【2】 COVID-19罹患後症状サポートプロジェクトの実施について

参議院議員 **自見はなこ** は、議員活動や考え方等を広く知っていただくよう、LINEを立ち上げています。LINE登録にご協力をお願いいたします。



# 令和5年 兵庫県医師会 新年祝賀会



挨拶する八田昌樹県医会長

兵庫県医師会新年祝賀会が、令和5年1月12日（木）、神戸ポートピアホテル「借葉の間」においてコロナ禍のため3年ぶりに開催されました。今年も松本日本医師会会長、齋藤兵庫県知事、澤田兵庫県歯科医師会会長、笠井兵庫県薬剤師会会長、成田兵庫県看護協会会長、西村・川島・空地兵庫県医師会名誉会長、自民自由民主党参議院議員、兵庫県医師連盟推薦の国会議員、郡市区医師会会長、各医会会長、各委員会委員長等、202名の出席を賜りました。

三浦・瓦井常任理事の司会のもと、鈴木副会長の開会の辞で祝賀会は始まりました。八田会長よりの新年の挨拶とともに新型コロナウイルスの感染症法上の

位置付けについて、拙速な変更は避けて特有の類型を考えていくことが望ましいと言及され、地域医療構想やかかりつけ医療機能問題等に関しては、日本医師会や郡市区医師会と協力して対応していく、と話されました。来賓挨拶では松本日本医師会会長より日本医師会に対する兵庫県医師会の協力を感謝の言葉とともに、昨年の新体制からは地域から中央へ、国民や医師の信頼を得られる一致団結した強い医師会を目指している、と挨拶をされました。その後、齋藤兵庫県知事、澤田兵庫県歯科医師会会長のご挨拶の後、笠井兵庫県薬剤師会会長

の乾杯のご発声で祝賀が始まりました。3年ぶりの祝宴のため、各宴席においては例年以上に非常に有意義な意見交換の場が多く見受けられ、最後には橋本副会長より祝賀会出席への感謝と閉会の辞をもって華やかに閉会となりました。

医師連盟プロジェクト委員会  
委員長 北垣 幸央



本県医師連盟選出の国会議員の方々



県議会各派代表議員の方々



兵庫県歯科医師会  
澤田隆会長



兵庫県医師会  
八田昌樹会長



日本医師会  
松本吉郎会長



兵庫県  
齋藤元彦知事

## 兵庫県医師連盟 ホームページ

医師連盟の主張や意見の広場、郡市区医師連盟の活動などを掲載し、随時内容を更新しています。

<http://www.hyogo-ishirenmei.jp>



兵庫県議会  
水田裕一郎副議長（県議会議長代理）



兵庫県薬剤師会  
笠井秀一会長



**北垣委員長(以下 北垣)**  
山田先生におかれましては、外務副大臣として非常に多忙のところ、兵庫県医師連盟のインタビューをお受けいただき有難うございます。前回、私が山田先生にインタビューをさせていただいたのが6年前。以後先生とは何度となくお会いする機会がありました。外務副大臣になられてからは初めてのインタビューです。山田先生は大阪教育大学付属天王寺高等学校、米国インディアナ州ノース高校(留学)、神戸大学法学部を卒業。住友銀行、通商産業省出向、S.G信託銀行を経て第46回衆議院選挙に当選された経済、外交のスペシャリストの先生で、第二次岸田内閣にて外務副大臣に就任され、世界各国を訪問されています。

**山田衆議院議員(以下 山田)**  
西宮市、芦屋市医師連盟並びに兵庫県医師連盟の皆様には常日頃よりご指導、ご支援をいただき誠に有難うございます。また、新型コロナウイルスへの対応に尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。本日は宜しくお願いいたします。

**山田** 先生、宜しくお願いいたします。  
**北垣** やはり高校でのアメリカ留学の時から、将来は世界を相手に政治の道に進もうと思われていたのですか？  
**山田** まず、高校時代には将来、海外と関わる仕事をしたいとは思っていましたが、政治家という選択肢があるとは全く考えていませんでした。

**北垣** 山田先生のフェイスブックを見させていただくと、この12月(令和4年)も毎日のように各国の閣僚や議員、駐日大使らとの会談の合間に、ニューヨークの国連安全保障理事会での公開討論への参加や、アフリカのモロッコ、アルジェリアへの訪問、そして週末の地元行事への参加と本当に秒単位で世界を駆け巡っておられますね。外務副大臣として、世界を駆け巡っていられますか？

**山田** 外務副大臣は要人との会談や国際会議での発言など、まず担当の外交活動をこなすことが第一でした。その後、党に戻ってからも国際機関の邦人職員増強や経済安全保障の確保に取り組みました。こうした経験を経て外務副大臣として外務省に戻りましたが、自らの外交活動に加え、組織運営という視点を意識し、外務省全体の業務の進め方の見直しや体制の強化などについて提言し、改革を促しています。

**北垣** 山田先生が政治家を目指されたきっかけが平成22年に起こった尖閣列島沖での巡視船中国漁船との衝突事件で、外交・防衛に対して強い危機感を持たれたと伺っています。今回のロシアのウクライナ侵攻、侵略に對しても非常に強い思いを持って国連安全保障理事会の公開討論に向かわれたのですか？  
**山田** はい。安全保障理事会は国連憲章の下、世界の平和と安全に責任を有する機関ですが、その常任理事国のロシアが隣国ウクライナに武力で侵略を行っており、国連が未だこれを止めることが出来ずにいます。これは国連の存在意義に関わる深刻な危機であります。国連の機能強化や常任理事国の拒否権行使抑制を含め、早期に改革を行う必要がありますが、多くの国が総論では賛同するも、一向に改革が進まない現状を指摘し、具体的な文書に基づく交渉を開始するよう、速やかに行動を起こすべきと訴えました。

**山田** 発生当初は混乱もありましたが、わが国は諸外国と比べても感染拡大をよく抑えていると考えています。もちろん、これは医師連盟の先生方をはじめ、全国の医療関係者の皆様のご尽力の賜物ですが、マスク着用、全国の医療関係者の皆様への徹底を含めた国民一人一人の高い衛生意識に基づく生活様式や自主的な行動抑制などによる感染爆発を抑えつつ、ワクチン接種を加速させ社会全体の免疫力を高めていったという方策は正しかったといえます。他方で、感染拡大時の病床の確保については更に改善の余地があると考えます。また、国産ワクチン・治療薬の開発・生産を含めた創薬力の強化は重要かつ喫緊の課題として取り組んでいく必要があります。

**北垣** 貴重なご意見をいただきありがとうございます。今後、わが国は地球規模課題としてのUHCの推進に積極的に取り組んでまいります。英国の制度については詳細を承知しているわけではありませんが、「かかりつけ医」を割り当てるのではなく、患者自身が自分に合った「かかりつけ医」を選択し納得して医療を受けることは大切だと考えます。



安保理閣僚級公開討論での演説



山田賢司衆議院議員

北垣幸央委員長

(三面から)

山田 医療の重要性は平時には世の中で意識されず、何かあった時には待った無しの対応が求められる。他方で医療提供体制の整備は一朝一夕にできるものでなく、とりわけ、今般のコロナ禍により、医師・看護師をはじめとする医療従事者の確保が非常に困難であるということが浮き彫りとなりました。経済合理性と相容れない点を念頭に

ことなく、現場の実態や課題を踏まえた対策を講じていく必要があり。昨今、感染拡大予防の観点から、皆様とお会いして直接お話を伺いする機会が少なくなっており、是非とも機会を見つけて、これまで以上に現場のお話をお聞かせいただきたく存じます。今後の山田先生の更なる活躍を期待申し上げます。

北垣 本日は本当にご多忙の中、インタビューに応じていただき有難うございました。今後の山田先生の更なる活躍を期待申し上げます。

# 都市医師連盟だより

【川西市医師連盟】

2022年(令和4年)

川西市長選挙・川西市議会議員選挙を振り返って

任期満了に伴う川西市長選挙は2022年10月9日告示され、2選を目指す現職の越田謙治郎氏(45)と新人の元市議山下隆志氏(40)の2人が立候補した。2人のプロフィールは、1. 越田謙治郎氏は川西市出身、同志社大学法学部政治学科卒業、教育関連の出版社勤務を経て2022年から川西市議を2

期、2011年から兵庫県議会を2期務めた。2018年川西市長選挙で初当選、今回2期目を目指して立候補した。2. 山下隆志氏は京都市出身、京都大学工学部工学化学科卒業、日本ペイント、国際特許事務所を経て、2017年弁理士事務所日本知財納付サービスを設立、2018年川西市議会議員選挙に当選し1期途中まで務めた。

10月9日9時から開催された川西能勢口駅前藤の木さんかく広場での出陣式に兵庫県副知事、兵庫県議会議員、近隣市町の首長、支援者が多数出席して

いた。この出陣式において、越田氏は1期目の成果である中学校給食の実現、待機児童の解消、市立病院の再編、財政状況の赤字からの脱却などを訴え、2期目に向けての「マネーフレスト」して6項目、1. 政策は子ども・教育から始めます2. 暮らしの近くに仕事や活躍の場を作りま

たが、17日0時40分開票が終了し、越田氏40,584票、山下氏22,461票で越田氏の圧勝であった。なおこの越田氏の得票数は有権者数の違いはあるものの前回平成30年の初当選時とほぼ同数という結果と判断できる。当選確実の報道を受け

川西市議会議員選挙は令和4年10月16日の市長選挙と同日で執行され、定数26を今回2減らして24に対し32名が立候補した。現職のうち16名が立候補し10名が引退、3名の元職が立候補し、13名の新人が立候補した選挙となった。投票率は市長選挙と同じ49.28%、(前回平成30年52%)で当選ラインは1,600票(前回より300増)となった。その結果、現職は1名落選したが、その他15名は手堅く当選し、元職は1名、新人は8名が当選し市議会議員の顔ぶれが大幅に変わった。24名の内

訳は自民2、公明5、維新4、共産3、立憲民主1、参政1、無所属8であった。川西市医師連盟委員長 織田行雄 近年、コロナ禍の中で残念ながら活発な医政活動は出来ていません。しかし、第7波が過ぎた令和4年秋頃より姫路市議会議員との懇談会を始めとして、徐々に活動を再開しています。令和3年度からの姫路市医師連盟の活動を報告します。令和3年7月には兵庫県知事選挙がありました。理事会にて齋藤元彦候補の推薦が決まり、7月6日齋藤候補の個人演説会に、宮下常任執行委員(当時)が参加しました。7月18日投票結果は当選となりました。令和3年10月31日には第49回衆議院選挙がありました。兵庫11区は松本剛明候補を推薦し、兵庫12区は山口つよし候補を推薦し、二人とも当選されました。令和4年7月10日には第26回参議院選挙がありました。7月1日姫路市市民会館にて兵庫選挙区末松信介候補(すでに推薦済み)の決起集会が



姫路駅前でご下副委員長による街頭演説(令和4年7月5日)

姫路市医師連盟副委員長 宮下正人

5. コンパクトで質の高い街を目指します6. 未来を見据え街への愛着を育みます」を新たに加え、子供の未来に対する投資、高齢者の暮らしやすい地域にする、特に認知症対策、企業誘致と働き口を増やすと訴え、「改革を加速する」とした。川西市医師連盟は当初から越田氏を推薦しており、出陣式には織田委員長、藤末前委員長、深町事務

長が出席し、市長選挙公示を伝えるサンテレビの報道には越田氏と織田委員長とがグータッチする映像があった。一方の山下氏は「現市政は市民のために平等に税金が使われていない。」と訴え、北部医療や学校統合問題を掲げたが、立候補表明が公示8日前で大きく出遅れ準備が足りず、存在感を示せない中で

あり、宮下副委員長が参加しました。7月5日には日本医師会組織内候補として立候補された自見はなご候補の選挙カーが兵庫県に連れられ、夕方6時前に姫路駅前に着きました。宮下副委員長と自由民主党議員水田裕一郎氏が応援演説をしました(写真1)。選挙結果は二人とも当選となりました。

令和4年10月31日公明党政略要望懇談会が開催されました。石橋委員長と宮下副委員長が参加しました。伊藤たかえ参議院議員を中心に国政、県政、市政に対する要望に関し懇切丁寧な回答を頂きました。令和4年11月12日に姫路市議会議員との懇談会を開催しました。国部副委員長からはコロナ禍における在宅医療について、中谷副委員長からは急病センターにおける発熱外来の設置に

ついて説明をしました。市議会議員の先生方には有用な情報提供となったと思います。令和4年11月29日には清元秀泰市長の元へ姫路市医師連盟執行部全員で訪問しました(写真2)。早期の地域外来・検査センター(PCRC検査)の立ち上げ、コロナワクチンの接種などに関して、市長からお礼の言葉を頂きました。この冬のコロナ、インフルエンザ同時流行に対しても十分な補助、助成をするとの旨を頂きました。なお、令和5年4月、統一地方選挙において姫路市長選挙が行われます。姫路市医師連盟は清元候補を姫路市長に推薦しました。令和4年度から5年度にかけては忘年会や新年会も行う予定で、各議員との懇談の場を設け、医政活動を活性化したいと考えています。



姫路市長訪問 下段左より 石橋委員長、清元市長、上段左より 池上常任執行委員、宮下副委員長、国部副委員長、中谷副委員長、大田会計責任者(令和4年11月29日)